

# 平成26年度 予<sup>よ</sup>算<sup>さん</sup>

市議会3月定例会で、平成26年度施政方針が示され、これを踏まえた平成26年度当初予算が可決、成立しました。  
藤田市長の考えを皆さんに伝えるとともに、平成26年度予算の概要を掲載します。

平成26年度

## 施政方針から

5つの柱を軸に行政運営を推し進める

私は、市長就任以来、「行財政改革」「産業・雇用をつくる」「生活を守る」「共助社会づくり」「未来をつくる」の5つの柱を重点施策として取り組んでまいりました。

昨年、就任3年目となる平成25年度は、市民サービスの向上、効率的な行政運営、市の成長を力強く推し進めてまいりました。

具体的には、ウォーキングコースの再整備、消防団車両の更新、天拝公園周辺の整備、上原田公園の整備、青年就農給付金事業の展開、

コミュニティ運営協議会の発足、起債の繰上げ償還の実施などを行いました。

予算総額は6千万円減に

平成26年度の予算規模は、一般会計、特別会計の総額では前年度に比べ約6千万円減の約49.6億9千万円となる場合がございます。

一般会計につきましては、前年度比で1億円減の約31.4億7千万円を予算計上したところでございます。

また、特別会計の合計額では、対前年度比約4千万円増の約1.82億2千万円の予算額を計上しております。公営企業会計につきましては、水道事業会計約27億3千万円、下水道事業会計約38億5千万円の予算額を計上しております。

ふるさと筑紫野の一層の発展のために

今後とも、市民の皆様の負託に応えるため、筑紫野市の行政の長として、決断をすべきは決断をし、市民の皆様が、このまちに生まれてよかった、暮らしてよかった、そして「ふるさと」として誇りをもって語れるまち「筑紫野」の実現のため、誠心誠意、全力で市政運営を担っていく所存でございます。

筑紫野市長 藤田 陽三



平成26年度歳入歳出予算全体表

会計名	平成26年度 (A)	平成25年度 (B)	増減額 (C)=(A)-(B)	伸率 (C)/(B)	
一般会計	314億7,100万円	315億7,100万円	△1億円	△0.3%	
特別会計	国民健康保険事業	97億3,676万4千円	98億6,609万8千円	△1億2,933万4千円	△1.3%
	住宅新築資金等貸付事業	675万7千円	686万5千円	△10万8千円	△1.6%
	奨学資金貸与事業	697万2千円	679万2千円	18万円	2.7%
	介護保険事業	56億8,414万7千円	55億8,236万5千円	1億178万2千円	1.8%
	後期高齢者医療事業	21億3,835万2千円	19億5,811万7千円	1億8,023万5千円	9.2%
	農業集落排水事業	2億2,566万9千円	2億2,736万8千円	△169万9千円	△0.7%
	土地取得事業	2億8,553万2千円	4億6,645万9千円	△1億8,092万7千円	△38.8%
	二日市財産区	5,548万1千円	534万6千円	5,013万5千円	937.8%
	御笠財産区	1,774万2千円	907万円	867万2千円	95.6%
	平等寺山財産区	6,079万円	4,524万6千円	1,554万4千円	34.4%
	特別会計 小計	182億1,820万6千円	181億7,372万6千円	4,448万円	0.2%
合計	496億8,920万6千円	497億4,472万6千円	△5,552万円	△0.1%	

問い合わせ先で電話番号を掲載していない課・担当などは、市役所本庁 ☎(923) 1111にお願いします

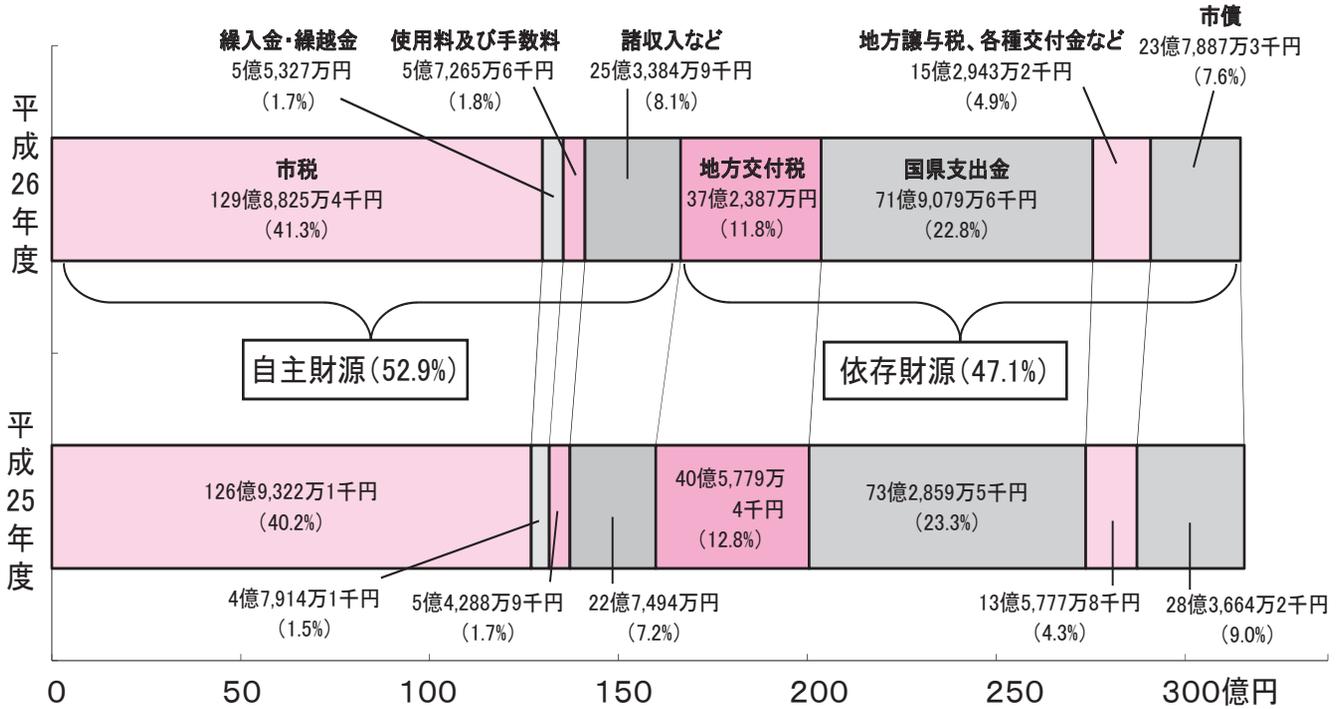
# 一般会計 歳入 (市に入るお金)

本市の基幹歳入である市税は、法人市民税が約3億3千9百万円の増額、固定資産税が約1千5百万円の増額を見込んだことから、市税全体では前年度比約2億9千5百万円の増額となりました。

また、子育て世帯臨時特例給付金補助金や臨時福祉給付金補助金などの増額要因とJR二日市駅地区

整備事業、筑紫駅西口土地地区画整理事業などの事業進捗に伴う減額要因により、国県支出金全体では前年度比約1億3千8百万円の減額となりました。

市債についても事業進捗に伴い前年度比約4億5千8百万円の減額となりました。



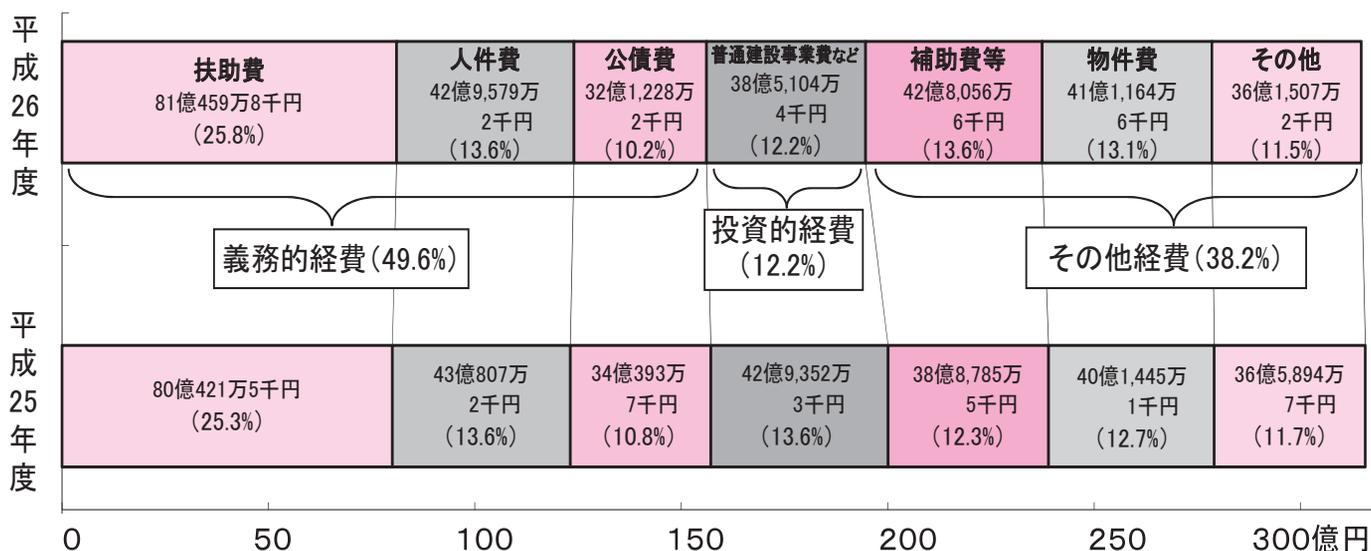
区分	平成26年度	平成25年度	増減額 (増減率)	
自主財源(市が自主的に調達できるお金)	166億4,802万9千円	159億9,019万1千円	6億5,783万8千円 (4.1%)	
内訳	市税 (個人市民税や法人市民税、固定資産税など)	129億8,825万4千円	126億9,322万1千円	2億9,503万3千円 (2.3%)
	繰入金・繰越金 (前年度からの繰越金や基金からの繰入金など)	5億5,327万円	4億7,914万1千円	7,412万9千円 (15.5%)
	使用料及び手数料 (市営住宅の家賃や公共施設の使用料など)	5億7,265万6千円	5億4,288万9千円	2,976万7千円 (5.5%)
	諸収入など (発掘調査受託事業収入や保育料など)	25億3,384万9千円	22億7,494万円	2億5,890万9千円 (11.4%)
依存財源(国や県からの交付金や銀行からの借入金)	148億2,297万1千円	155億8,080万9千円	△7億5,783万8千円 (△4.9%)	
内訳	地方交付税 (全国どこでも必要最小限の行政サービスが受けられるよう、国が交付するお金)	37億2,387万円	40億5,779万4千円	△3億3,392万4千円 (△8.2%)
	国県支出金 (特定の事業のために国や県が交付するお金)	71億9,079万6千円	73億2,859万5千円	△1億3,779万9千円 (△1.9%)
	地方譲与税、各種交付金など (国や県が徴収した税金の一部を市に分配するもの)	15億2,943万2千円	13億5,777万8千円	1億7,165万4千円 (12.6%)
	市債 (大きな事業を行うための銀行などからの借入金)	23億7,887万3千円	28億3,664万2千円	△4億5,776万9千円 (△16.1%)
<b>歳入合計</b>	<b>314億7,100万円</b>	<b>315億7,100万円</b>	<b>△1億円</b>	

# 一般会計 歳出 (市が使うお金)

一般会計予算の歳出は、生活保護費や障害者総合支援法に基づく介護給付費などの増額により、扶助費は前年度比約1億円の増額となりました。投資的経費は、共同調理場施設整備事業、二日市保育所大

規模修繕事業などの事業費を増額としましたが、筑紫駅西口土地区画整理事業、JR二日市駅地区整備事業などが事業進捗により減額となったため、前年度比約4億4千2百万円の減額となりました。

## 性質別



## 目的別

費目	主な使用目的	平成26年度	平成25年度	増減額 (増減率)	平成26年度 構成比
民生費	高齢者、障害者、児童などの福祉の費用	128億3,373万9千円	120億5,449万9千円	7億7,924万円 (6.5%)	40.8%
公債費	国や金融機関などから借入れたお金の返済費用	32億1,228万2千円	34億393万7千円	△1億9,165万5千円 (△5.6%)	10.2%
土木費	道路、河川、公園などの費用	31億9,343万9千円	46億2,559万6千円	△14億3,215万7千円 (△31.0%)	10.1%
総務費	防災対策、情報化推進、戸籍・住民票などの費用	30億8,039万5千円	31億9,918万2千円	△1億1,878万7千円 (△3.7%)	9.8%
教育費	小・中学校、幼稚園、生涯学習や文化・スポーツ振興の費用	29億5,872万4千円	23億5,022万円	6億850万4千円 (25.9%)	9.4%
衛生費	ごみ処理、保健衛生などの費用	29億5,680万9千円	28億4,683万1千円	1億997万8千円 (3.9%)	9.4%
その他	消防、商工業・農林水産業の振興、市議会などの費用	32億3,561万2千円	30億9,073万5千円	1億4,487万7千円 (4.7%)	10.3%
<b>歳出合計</b>		<b>314億7,100万円</b>	<b>315億7,100万円</b>	<b>△1億円</b>	<b>100.0%</b>

問い合わせ先で電話番号を掲載していない課・担当などは、市役所本庁 ☎ (923) 1111 にお願ひします

～ 輝く筑紫野市に向けて ～

## 平成26年度当初予算 重点施策とその概要をお知らせします

### 重点施策 1 生活を守る

- 災害情報伝達手段整備事業 500万円  
携帯電話や固定電話、FAXなどに、市独自の災害情報を配信できるようにシステム整備を充実します。
- 拡大子ども医療費支給事業 1,504万5千円  
市独自で行っている小学校1年生から3年生までの入院費の助成を、さらに小学校6年生まで拡大します。
- 二日市保育所大規模修繕事業 2億2,145万4千円  
より一層、安心して子どもを預けることができるよう、二日市保育所の耐震補強工事を行います。

### 重点施策 3 産業・雇用をつくる

- 青年就農給付金事業 600万円  
国の補助事業を活用して、次世代就農者の育成と地域農業の再生のため、新たに農業を始める人に対して、経営が安定するまでの期間を補助します。
- 観光ルート整備事業 1,700万円  
観光入り込み客数の増加を図るため、天拝公園周辺までの観光ルートに、誘導標識などの設置を行います。

### 重点施策 4 共助社会づくり

- 筑紫コミュニティセンター建設事業 4,928万7千円

地域コミュニティの拠点となる、筑紫コミュニティセンターについては、外構工事などの整備を進めます。



▲筑紫コミュニティセンター

### 重点施策 2 未来をつくる

- 筑紫小学校プール改築事業 2億1,732万円  
子どもたちがより安全に利用できるように、老朽化したプールを改築します。
- 共同調理場施設整備事業 3億6,287万7千円  
より安全でおいしい学校給食を子どもたちに提供するため、施設・機器の老朽化による改修に併せて耐震補強工事を行います。



▲学校給食共同調理場

- 市内全小中学校の空調設備整備事業 (平成25年度繰越分) 5億2,676万8千円  
小中学校の災害時二次避難所としての機能強化と、子どもたちの教育環境改善のため、空調設備を整備します。
- 筑紫野太宰府消防本部および筑紫野消防署庁舎改築工事業 8億1,674万8千円  
災害時の災害対策拠点施設として、耐震性を強化した庁舎に建替えを行います。
- 橋りょう長寿命化促進事業 1,300万円  
長寿命化を進めるため、今年度は五郎山大橋の補修工事を行います。今後とも計画的に橋の維持・修理工事を進めます。
- 筑紫駅西口土地区画整理事業 10億2,671万円  
平成28年度工事完了を目指し、仮換地指定の同意を得ながら取り組みを進めます。
- JR二日市駅地区整備事業 3,829万2千円  
次田・大門線街路整備をはじめとする本事業については、関係機関との協議を進め、事業の推進を行います。
- 飲料水供給施設整備事業 4,500万円  
柚須原地区の飲料水供給施設について、老朽化した配水管の更新を行います。

## 主な特別会計

予算

特別会計は、特定の事業を行う場合に、特定の歳入をその支出に充てるために設置されるものです。

ここでは、特別会計の主なものについて説明します。

### 国民健康保険事業

特別会計

被保険者の疾病、負傷、出産または死亡に関して必要な保険給付を行っています。

▼97億3676万4千円

(前年度比1・3%減)

主に保険給付費の減少が見込まれるためです。

### 介護保険事業特別会計

介護サービス費などの給付事業やこれらに関連する事業などを行っています。

▼56億8414万7千円

(前年度比1・8%増)

主に介護サービスや介護予

防サービスなどの保険給付費の増加が見込まれるためです。

### 後期高齢者医療事業

特別会計

後期高齢者の心身の特性に合わせた医療サービスを介護サービスと連携して提供することを目的とし、高齢者と若年者の世代間の負担の公平化と財政基盤の安定化を図る制度です。

▼21億3835万2千円

(前年度比9・2%増)

主に保険給付費の増加が見込まれるためです。

### 農業集落排水事業

特別会計

農業集落地域の農業用水の水質保全と生活環境の改善を図り、あわせて公共用水域の水質保全のため、排水処理施設の設置と管理を目的とします。

▼2億2566万9千円

(前年度比0・7%減)

## 公営企業会計

予算

### 水道事業会計

下水道事業会計

公営企業は、企業会計方式で経営を行う特別会計です。

飲用水などを供給する水道事業と、生活排水などの処理を行う下水道事業があります。

水道水の安全で安定した供給や、健康で快適な生活環境の確保のため、水道・下水道の整備を行っています。

### 水道事業会計

#### ◆収益的収入・支出

水道事業の経営成績ともいえる収益的収支は、

▽水道料金などの収入

20億3836万7千円

▽水道水の供給にかかる費用などの支出

18億7950万3千円

#### ◆資本的収入・支出

水道事業の施設の建設などにかかる資本的収支は、

▽地方債、負担金などの収入  
3億3600万2千円  
▽水道配水管の整備などの支出  
8億4589万5千円

### 下水道事業会計

#### ◆収益的収入・支出

下水道事業の収益的収支は、  
▽下水道使用料などの収入  
22億6996万9千円

▽下水道施設の維持管理費用などの支出  
20億9451万5千円

#### ◆資本的収入・支出

下水道事業の資本的収支は、  
▽地方債、補助金、受益者負担金などの収入  
11億2363万8千円

▽公共下水道の整備などの支出  
17億5317万6千円

なお、資本的収入が支出に対して不足する6億2953万

消費税等込

### 公営企業会計予算

区分	水道事業会計		下水道事業会計	
	収入	支出	収入	支出
収益的収支	20億3,836万7千円	18億7,950万3千円	22億6,996万9千円	20億9,451万5千円
資本的収支	3億3,600万2千円	8億4,589万5千円	11億2,363万8千円	17億5,317万6千円
合計	23億7,436万9千円	27億2,539万8千円	33億9,360万7千円	38億4,769万1千円

収益的収支＝経済活動に伴い発生する収益と費用、 資本的収支＝建設改良にかかる収入と支出

8千円は、主に過年度分損益勘定留保資金で補てんしていません。

問い合わせ先 財政課

問い合わせ先で電話番号を掲載していない課・担当などは、市役所本庁 ☎(923) 1111にお願いします